

ご挨拶



宇都宮市は、多様な自然環境や地理的条件に恵まれ、縄文時代から連綿と続く歴史を有し、こうした豊かな土壌から、数多くの個性ある文化財や伝統文化を育ててまいりました。

しかし、近年、少子高齢化や人口減少など社会が大きく変化する中で、地域によっては、担い手の不足などにより、これらの貴重な資源を守り引き継いでいくことが困難になりつつあることが危惧されております。

このため、宇都宮市では平成28・29年度の2か年をかけて、市内に所在する歴史文化資源を幅広く把握し、その価値や魅力を市民の皆様に伝え、郷土への愛着や誇りを醸成するとともに、地域固有の歴史的・文化的資源を将来にわたり守り、これらを「地域の宝」として活用した人づくりやまちづくりを進めていくための考え方や方針を示す「宇都宮市歴史文化基本構想」を策定しました。

本構想の特色といたしましては、今回把握した3,800件にのぼる歴史文化資源を整理し、宇都宮の歴史の特徴や魅力をわかりやすく伝える「文武に秀でた宇都宮氏の本拠地 うつのみや」や、「古代から現代まで 大谷石がつくり繫いだ石のまち うつのみや」など8つのストーリーをまとめたことでもあります。

また、把握した資源の中には、天棚や大谷石建造物など本市の個性を表す市民共有の財産として貴重な資源もありますことから、社会全体でこれらの資源を守り活かしていく本市独自の新たな制度や仕組みの考え方を示したことも、特色の一つであります。

今後は、本市の歴史や文化の特色を市民の誰もが理解し、誇ることができるよう、8つのストーリーを学校教育や生涯学習をはじめ、様々な機会を通じ都市の魅力伝えるツールとして活用するとともに、貴重な歴史や文化を社会全体で守り活かしていくための仕組みの制度化の実現を図ってまいります。

市民や事業者、関係者・団体等の皆様には、本構想の具現化に向けまして、なお一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本構想の策定にあたり、熱心なご議論を賜りました宇都宮市歴史文化基本構想策定懇談会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見を賜りました市民や関係者の皆様に心からお礼申し上げます。